

四島のかけ橋から響く声

中郷中学校2年
香川愛澄

島民の熱い声

得能宏(とくのひろし)さん
色丹島出身
13歳のときに根室に引き揚げられた



ロシアがなんと言おうと
歴史は変わらない

これを続けてはならない

今すぐ解決しなければならぬ

何十年何百年かかっても

取り戻さないといけない

日本の国土なんです

これは得能さん、得能さんを含めた島民の熱い、熱い声です。

ロシア軍に自分の故郷を奪われたときどんな気持ちだったかこの言葉ですごく伝わってきました。そして北方領土問題は軽いものではないということに気づかせてくれました。

研修の感想

この研修では”初めて”がたくさんでした。初めて見るもの、聞くこと、食べること、知ること、触れること、と初めてだらけでした。

この研修では沢山の人の北方領土に対する思いを聞くことができました。それぞれ思いは違ったけれど、共通していることがありました。それは誰もロシア人を憎んでいないということです。ロシア人全員が悪いだけではない、話せばわかるみなさんそうおっしゃっていました。私は”情報発信者”です。この研修で学んだことをまずは身近な人から、そしてその周りの人へと伝え、輪をひろげていきたいです。

市長さんの思い

明けない
夜はない
嵐もいつかは
必ずやむ



この言葉は市長さんが大事にしている言葉です。北方領土問題もいつかは必ず解決する、市長さんはそう思っています。

ですが、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、今まで積み上げてきたものが全てできなくなってしまいました。このことに市長さんは、**まるで時計の針が三十年以上戻ったみたい**

と仰っていました。

ちょっと驚く話！

得能さんは、ロシア軍と一緒に暮らしていたときに会った少女ターニャに初恋💖をしていた
根室市の名産である花咲ガニは、カニ🦀ではなくヤドカリの一種



北方領土

